

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年6月8日

仕事の内容	中央公民館事業					
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係	課長名	尾又 恵子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実

(総合計画書 35 ページ)

予算名	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業	1	中央公民館事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。							① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民							→ 市の人口【4月1日】				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]							② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
地域で、学習の場に参加できる。							→ ①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(4月現在)					
③ そのために何をしましたか。							③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤中央公民館だよりの発行							→ ①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤中央公民館だよりの発行回数					

		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標		
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	84,671	85,382	86,092			
	成果指標	②の数値	人	①	5,628	①	4,128	①	8,174
				②	94,010	②	92,309	②	99,116
				③	131	③	129	③	134
目 標	②の目標値								
		目標値設定の考え方							
活動指標	③の数値	回	①	30	①	31	①	31	
		回	②	54	②	61	②	64	
		回	③	5	③	4	③	7	
		%	④	63.10	④	62.88	④	65.36	
		回	⑤	3	⑤	3	⑤	3	

3 経費	事業費		円	54,691,973	198,665,611	31,205,274	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	34,570,143	32,306,031	30,527,704	
		特定財源	円	20,121,830	166,359,580	677,570	
		(うち受益者負担)	円	574,830	570,580	664,570	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5	5	5	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	41,165,000	41,165,000	41,165,000	
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	95,856,973	239,830,611	72,370,274		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大い

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和49年8月、市内2番目の公民館として開館。市民の生涯学習を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	利用者の高齢化 施設の貸出しについて、インターネット予約を平成27年10月から開始した。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	施設の利用について、予約システムを導入し抽選方式としたことにより、インターネットに縁のなかった高齢者からは操作に対する不安が寄せられた。また、これに伴い調整会議を廃止したため、利用者同士が顔を合わせる機会がなくなりコミュニティの低下を心配する声もあった。しかし、これまで調整会議に参加することができなかった団体も抽選に参加できるようになり、公共施設の公平性が図られた。	

仕 事 の 内 容	中央公民館事業					
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係	課長名	尾又 恵子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)					
	取り組んだ	取組手法	①②⑤⑥⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。						
7 課題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。					
	公民館の利用者は年々減少傾向にある。これまで定年後の活動の場に公民館を利用していた人たちが、少子高齢化による労働人口の減少もあり60歳を超えても働くようになり、さらにレジャーが多様化される中、公民館に活動の場を求める人が減ってきている。また、施設のバリアフリー化やW i f i の整備など時代に合った整備が求められたり、建物の老朽化対策も重要な課題となっている。 予約システム導入に伴い調整会議が廃止になり、利用者が毎月顔を合わせる機会が減ってしまったことから、利用連や館からの連絡事項等を伝える新しい手段の確立を考える必要もある。					
8 今後の方向性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)					
	これまで定期的に公民館を利用してきたグループも、会員の高齢化が目立ってきている。主催講座からの新たなグループ作りを目指しながらも、既存グループに対し地域デビューパーティーのように会員を増やす事業への参加を促していく。また、施設整備に関しては実施計画に載せるなど、計画的をたて予算要求していく。					
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 毎月月初に開催されていた調整会議の廃止により、館から各グループにまとめて伝達する手段がなくなり、グループ同士が顔を合わせる機会もなくなった。利用連と連携し代替案を考えるていく。また、講座等の開催や、地域デビューパーティーを人が集まる産業まつりと併せて開催するなど、新たな公民館利用者を増やす方を講じていく。					
(3) 改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。	